

ルイヨウショウマ

Actaea asiatica

キンポウゲ科



ルイヨウショウマ

名前の由来

葉が近縁種のサラシナショウマに似ていることから名付けられた。升麻は漢名から由来し、漢方で用いられるサラシナショウマの根茎を乾燥させたものを指す。漢字名：類葉升麻

形態的特徴

高さ40~70cmになる。葉は鋭い鋸歯を持った多数の小葉に分かれる(2~3回の三出複葉)。花は白色で、花びら(花弁)は4~6枚、細かい多数の雄しべが突出しているのが目立つ。茎の頂に多数の花がまとまってつく。実は球形で黒く熟し、実につながる果柄は果時に肥厚するのが特徴。

類似種と見分け方：アカミノルイヨウショウマ、シロミノルイヨウショウマ。

アカミノルイヨウショウマの実が赤色に、シロミノルイヨウショウマの実が白色に熟する。ルイヨウショウマの果柄は果時に肥厚し、また実がついた果柄が連なる果軸が特に太いことが特徴。

生育環境・分布

低地~山地の広葉樹林内に生育する。

分布：国外分布は、朝鮮・中国・ウスリーの温帯から亜寒帯。

国内分布は、北海道から九州。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、低地~山地の広葉樹林内で見られる。

生活史

開花時期：5~6月。開花までの年数：不明。寿命：多年草。

他生物との関わり

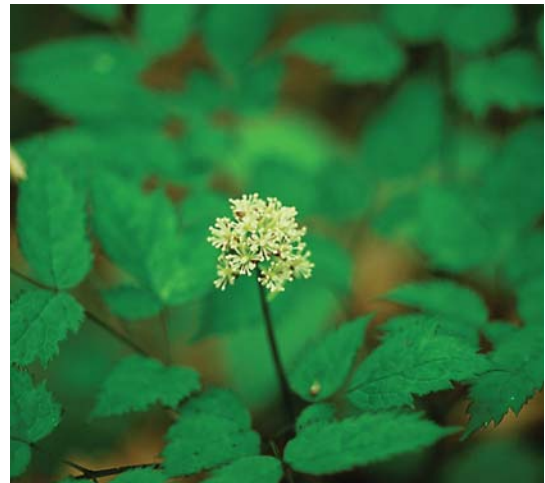
花には虫が訪れる。

興味深い話

■ルイヨウショウマの仲間は外見がほとんど同じで、実の色が黒いルイヨウショウマ、実の色が赤いアカミノルイヨウショウマ、実の色が白いシロミノルイヨウショウマと、3種類ある。

配慮事項

生育している環境全体が重要である。



ルイヨウショウマの花

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期		■	■									
結実期				■	■	■						

参考文献

「改訂版 牧野新日本植物図鑑」 牧野富太郎 北隆館 1989

「北海道植物図譜」 滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本II」 佐竹義輔・大井次三郎 他 平凡社 1982

「図説 花と樹の大事典」 木村陽二郎・植物文化研究会・雅麗 柏書房 1996

「新版 北海道の花(増補版)」 鮫島惇一郎・辻井達一・梅沢俊 北海道大学図書刊行会 1993

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(鳥辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ